

Inter-American Development Bank (IDB/米州開発銀行) について



IDB本部 (ワシントンD.C.)

- 1959年設立の多国間開発機構。 **日本は1976年アジアで最初に加盟**
- 中南米・カリブ海諸国を対象とする最大の資金源。 **2021年は142億ドルの融資・保証の承認。**
- IDBは、融資、保証、補助金、および技術支援を通じ、中南米・カリブ海諸国におけるソブリンのプロジェクトやプログラムに資金を提供。
- **株主は加盟48カ国** - 中南米・カリブ海諸国26カ国と非借入国22カ国。
- 本部をワシントンD.C.に置き、四大陸で1,800人以上のスタッフが勤務。
- IDBの債券は信用格付けがトリプルA (AAA/Aaa) 見通しは「安定」 - 1962年以来格付トリプルAを維持。

*本資料は、IDB財務局がIDB債への投資家向けに作成している資料をベースに、大西がIDBの概略説明のために大幅に省略し、また一部説明を加えたものである。



(参考)

ビジョン2025 – 米州への再投資

中南米・カリブ海諸国における経済社会開発達成に向けたIDBグループのブループリント、2021～2025年

中期戦略の3目標

1. 生産性の高いセクターの再活性化
2. 社会的進歩促進
3. 優れたガバナンス・制度強化

投資の重点5分野

効果的な経済回復が図れ、構造改革の成果を長く享受できる分野

1. 地域統合
2. デジタル経済
3. 中小企業支援
4. 男女平等・多様性
5. 気候変動対策



ビジョン2025は、戦略的優先分野（[9ページを参照](#)）に基づいて構成され、IDBが戦略の実施を継続し、COVID-19危機以降に発生した新たな課題に対処できるようにするための取り組み。

IDB債の発行体



IDB(AAA/Aaa)

米州開発銀行
1959年設立

通常資本 (OC)

- 借入れおよび資本が財源
- 各国政府（ソブリン）に融資、保証および技術協力を提供

無償資金ファシリティ

- 事業全額について資本が財源
- IDBからの年次条件付資金の移転
- ハイチへの資金提供

IDBINV債の発行体



IDB Invest (AA+/Aa1)

米州投資公社 (IDB Invest)
1984年設立

- 借入れおよび資本が財源
- 民間企業に融資、保証および資本拠出（出資）を提供



IDB Lab

多国間投資基金
1992年設立

- ドナーから拠出された資金
- 零細・小企業に資本拠出（出資）、無償資金、および少額融資を提供

IDBの財務体質の強さ

IDBの強固なトリプルA格付け

格付機関	日付 ¹	長期格付	短期格付	見通し
S&P	2021年7月26日	AAA (SACPはaaa)	A-1+	安定的
ムーディーズ	2022年3月31日	Aaa	P-1	安定的

- IDBの債権：1962年以降一貫してトリプルA格付け
- IDBのスタンドアローン評価（SACP）は、極めて強固な企業リスクプロファイルと非常に強固な財務リスクプロファイルにより「aaa」

IDBのトリプルA格付の根拠

強固な資本

優れたアセットパフォーマンス
（「優先的に弁済を受けられる地位」）

運営・リスク管理の強固な枠組み

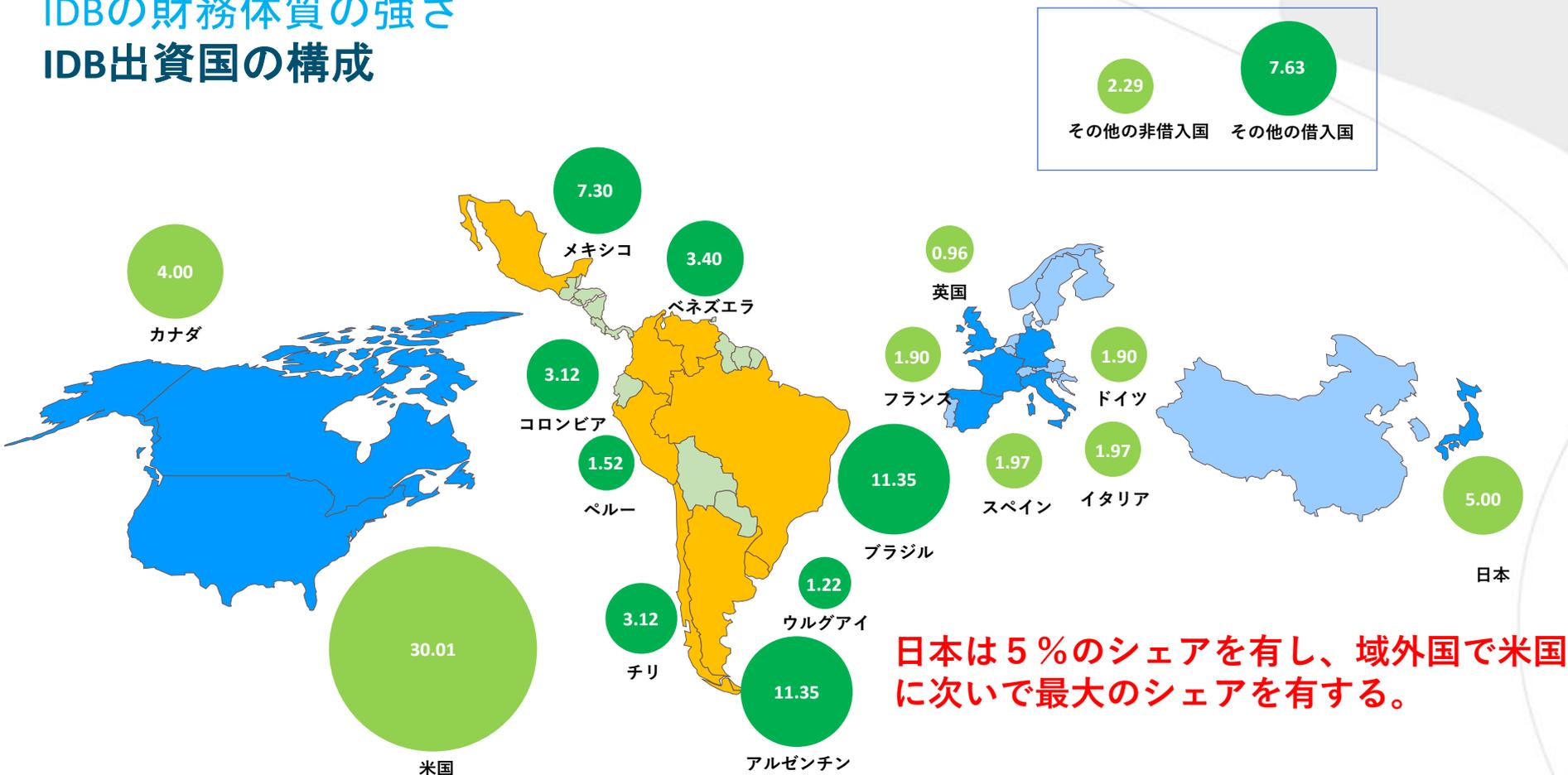
強力な流動性指標

¹ 日付は直近の信用格付レポート、格付意見、格付確認時点。

別途記載のある場合を除き、数字は2021年12月31日現在のもの。

IDBの財務体質の強さ

IDB出資国の構成



日本は5%のシェアを有し、域外国で米国に次いで最大のシェアを有する。

■ トップ8 非借入国

■ その他の非借入国

オーストリア、ベルギー、中国、クロアチア、デンマーク、フィンランド、イスラエル、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スロベニア、韓国、スウェーデン、スイス

■ トップ8 借入国

■ その他の借入国

パハマ、バルバドス、ベリーズ、ボリビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ガイアナ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、スリナム、トリニダード・トバゴ

49.99%

総投票権数に占める割合 (非借入国)

50.01%

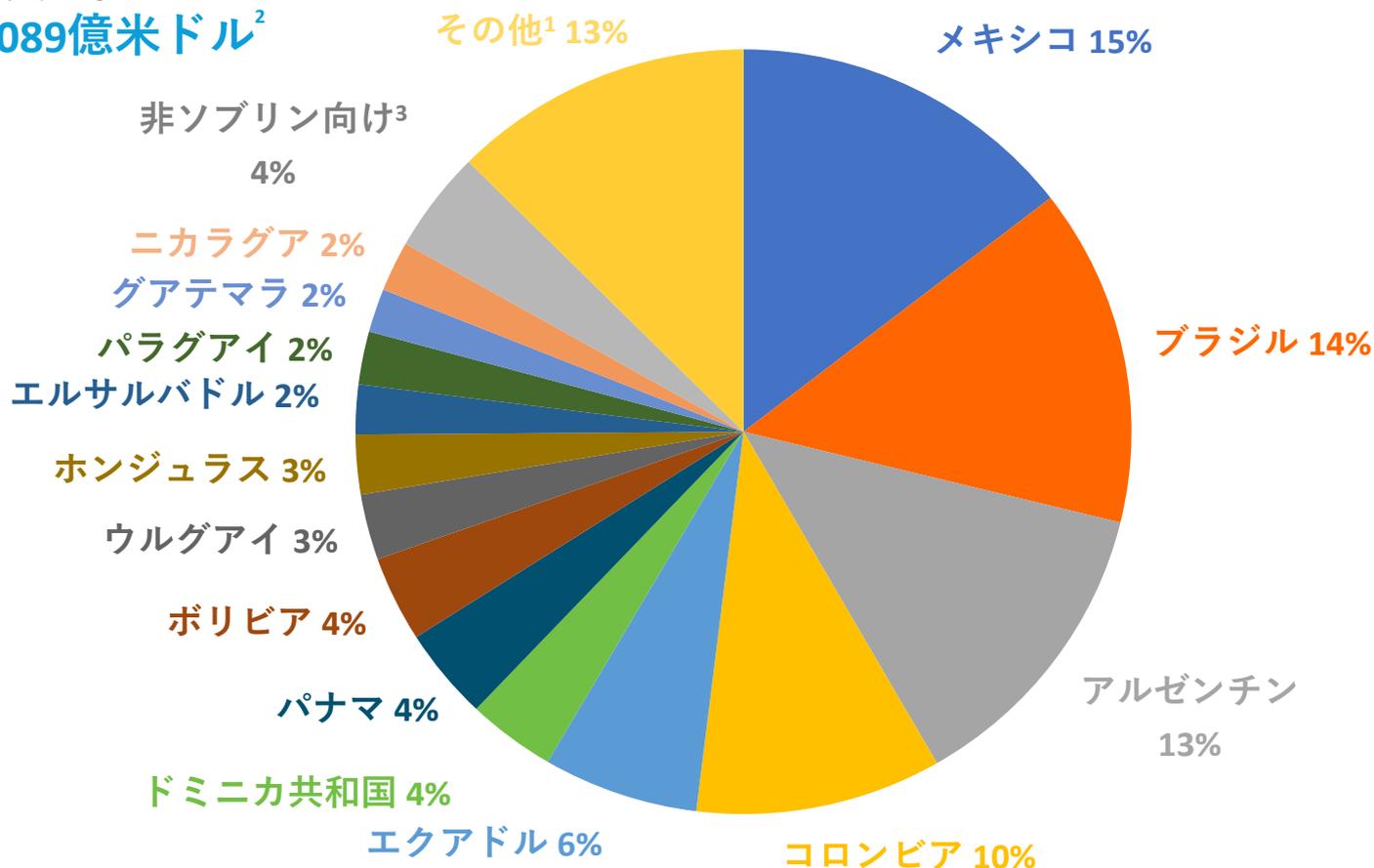
総投票権数に占める割合 (借入国)

IDBの財務体質の強さ

2021年国別融資残高

融資残高：

1,089億米ドル²



¹その他：バルバドス、バハマ、ベリーズ、チリ、コスタリカ、ガイアナ、ジャマイカ、ペルー、地域、スリナム、トリニダード・トバゴ、ベネズエラ

²貸倒引当金を除く

³非ソブリン向け（民間部門）融資

小数点以下の処理により合計値と一致しない場合がある。



ミッション：持続可能で気候変動問題に対応した形で、貧困や所得格差削減の取り組みを支援することにより、ラテンアメリカとカリブ海諸国の生活を改善する。

このミッションを達成するため、IADBの組織的戦略では以下の3つの開発課題を中心に据えている。

- 社会的インクルージョンと平等
- 生産性とイノベーション
- 経済統合



IADBの組織的戦略では、それぞれの開発課題と合わせて取り上げるものとして、以下の分野横断的な問題3点が特定されている。

- 男女平等と多様性
- 気候変動と環境の持続可能性
- 制度的能力と法

生活水準向上の効果

EFFECTIVENESS
FOR IMPROVING
LIVES

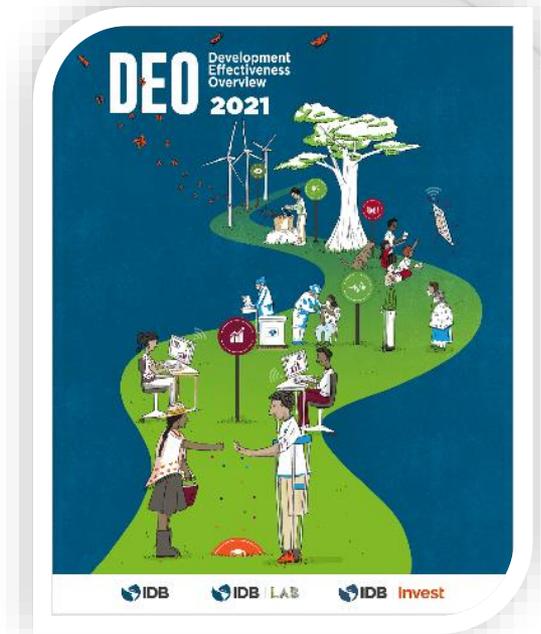
ラテンアメリカとカリブ海の開発金融の主要な資金源として、IDBグループは貧困と不平等を削減し、地域の持続可能な成長を実現することを目指しています。



詳細：

www.iadb.org/deoreport

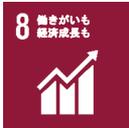
<https://crf.iadb.org/en/sdgs?institution=idbgroup>



IDBと持続可能な開発目標(SDG)

IDBグループの戦略的優先分野と国連のSDG

サステナビリティへの全体的アプローチは、当グループの制度戦略、企業業績フレームワーク(CRF)、環境および社会政策フレームワーク(SPF)を指針とする。

IDBグループの戦略的優先分野	持続可能な開発目標
 <p>社会的 インクルージョンと平等 (Social inclusion and equality)</p>	     
 <p>生産性とイノベーション (Productivity and innovation)</p>	   
 <p>経済統合 (Economic integration)</p>	  
 <p>気候変動と 環境の持続可能性 (Climate change and environmental sustainability)</p>	    
 <p>男女平等と多様性 (Gender equality and diversity)</p>	 
 <p>制度的対応能力と法規範 (Institutional capacity and rule of law)</p>	

- 各優先分野はSDGの 少なくとも1つと連携し、17のSDGのすべてが戦略によりカバーされる。
- この戦略はIDBの2つの広範な目的、「持続可能な成長を促す」と「貧困と不平等をなくす」ということを再確認する。この2つはどちらも、「国連・持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなす。

IDBと持続可能な開発目標 (SDGS)

2020年におけるIDBグループの取組成果 (抜粋)



PEOPLE



180万人
貧困対策プログラムの**受益者**



160,000人
経済的エンパワーメントプロジェクトの**女性**受益者



1,400万人
保健サービスの**受益者**



360,000戸
きれいな水に新たにアクセスできるようになった世帯およびアクセスが改善した**世帯**



260万人
教育プロジェクトの恩恵を受けた**児童・生徒・学生**



260,000戸
電力に新たにアクセスできるようになった世帯およびアクセスが改善した**世帯**

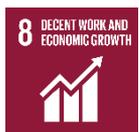
PROSPERITY



93,000
農業支援サービス・投資へのアクセスが改善した**農家**



2,000キロ
建設または改修された道路



580,000
雇用支援

IDBと持続可能な開発目標 (SDGS)

2020年におけるIDBグループの取組成果 (抜粋)



PLANET



1,000メガワット

新設された再生可能エネルギー施設の発電量



1,900万

トンCO₂ 温室効果ガスの年間排出削減量



360万ヘクタール

生態系ベースのアプローチを使用して管理された持続可能な生息地



PEACE, JUSTICE, AND STRONG INSTITUTIONS



8,700

市民安全と正義について訓練を受けた公務員

PARTNERSHIPS



19億ドル

国際貿易の支援

IDBと持続可能な開発目標（SDGS）

プロジェクトサイクルにおける持続可能性

IDBはプロジェクトサイクル全体を通して持続可能性を推進すべく行動する。

5. 完了と報告

- プロジェクトチームは完了報告を作成する。環境や社会問題に関する教訓を含めることで成功要因や過ちの教訓を将来のプロジェクトに生かす。

4. 実施

- プロジェクトチームが実行機関と密接に連携し、執行能力を高めながら年2回の進捗状況レポートを作成する。
- 高リスクプロジェクトや著しいリスクを抱えるプロジェクトはIDBの環境・社会問題専門家が執行を監督する。
- IDBは環境リスクや社会リスクの傾向をポートフォリオレベルでモニターし、報告する。

3. 承認

- IDBは各プロジェクトに対し国際開発金融機関の気候ファイナンス追跡手法を適用する。
- IDBは融資契約に環境・社会条項を含める。

1. プログラム策定

- IDBは借入加盟国の国家戦略に基づきIDBと加盟国の持続可能性行動の整合性を確保する。
- プロジェクトは全て精査して環境リスクや社会リスクを把握、また気候行動を取り得る将来プロジェクトを調査する。
- 災害・気候変動リスク評価の手法を全政府保証融資に適用、物理的気候変動リスクを特定する。

2. 準備

- IDBの環境・社会問題専門家が環境や社会に与える影響により全プロジェクトを分類、環境リスクや社会リスクの格付を行う。
- 環境・社会リスク管理ユニットがデューデリジェンスプロセスやIDB環境・社会ソリューションの品質保証を行う。
- IDBの気候変動、男女平等、多様性専門家が早い段階から参画、技術的助言を与えるほか、持続可能性に関する行動機会を探る。
- 災害リスクや気候変動リスク評価を借入加盟国が追加で実施する場合、IDBはこれをサポートする。
- 貸付ポートフォリオの温室効果ガス排出量については、グロスベース、ネットベースの双方で測定を行う。



(ご参考)

IDBとCOVID-19(新型コロナウイルス感染症) 危機の地域をサポート

パナマ：3,000万ドル

高品質ワクチンへの公平なアクセスや先住民や社会的に立場の弱い女性向けに不可欠なサービス等を促進する3,000万ドルの投資プロジェクト。

エクアドル：3億ドル

新型コロナウイルス感染症蔓延に起因する経済危機下、社会的弱者に最低限の生活の質を確保する一助となる3億ドルのプロジェクト。

ボリビア：5億ドル

現金給付による社会的弱者支援向けに5億ドルの融資。

ジャマイカ：7,500万ドル

新型コロナウイルス感染症による健康危機、経済危機に対応、公的政策や財政管理の効率を改善し効果を高めるための7,500万ドル融資。

アルゼンチン：3億ドル

公衆衛生サービスへのアクセス改善を目的とするアルゼンチンのブエノスアイレス州向け3億ドルの融資。

ありがとうございました。質問・お問い合わせ等大歓迎です。お気軽に大西
(Yasushi Onishi: yasushio@iadb.org)までお寄せください。